

市長のあいさつ

皆様のご協力により、松阪市地域福祉計画が完成いたしました。

私は、この地域福祉計画の策定にあたり、平成 16 年度から平成 17 年度にかけて、各地域で地区座談会を開催させていただき、皆様に、地域福祉計画に対する想いをお伝えしました。それは、この計画が、障がいの有無や年齢に関わらず、だれもが尊厳をもって家庭や地域で、その人らしく暮らせるように、お互いが助け合い、支え合える地域社会を築き上げていくためのものであり、そのためには、市民の皆様の積極的なご参加が必要不可欠であるというものでありました。



松阪市長 下村 猛

この想いをご理解いただく中で、それぞれの地域で、地域福祉を切り口とした地域課題についてご議論いただき、約 5,000 にも上る課題をご提出いただきました。

平成 17 年度末から、これらの地域課題を 7 つのテーマに分け、中学生・高校生にもご参加いただいた 100 人委員会を設置し、熱心な討議を重ね、平成 18 年度末には、各グループのまとめの発表会を行っていただきましたが、いずれのグループも大変、熱意のこもった活気ある発表をしていただいたとお聞きしております。

そして、今年度に入り、100 人委員会の各グループから選出いただいた編集委員により具体的な計画書の策定を進め、皆様の熱意をそのまま受け継いだ形で、この地域福祉計画が作り上げられました。

この 4 年間にも及ぶ市民の皆様の情熱を、松阪市といたしましても真摯に受け止めながら、引き続き、市民の皆様との協働に視点を置き、地域福祉を推進してまいりたいと考えており、「だれもが主役 地域の絆による支え合いのまち 松阪」の実現のためにも、市民の皆様には自分が主人公であり誰かを助け、誰かに支えられるという意識をもって計画の推進にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

また、平成 20 年度は、松阪市社会福祉協議会で、これまで以上に地域固有の課題を解決できるよう、小地域の松阪市地域福祉活動計画づくりを進めていただくこととしています。この活動計画は、より具体的で各地域の課題を解決するための計画づくりとなりますが、地域マネジメントシステムで示す地域計画と連動していけば、これまでにない住民自治がより推進され、「心豊かな町並み」の実現に繋がっていくものと考えており、これまで関わりを持たれた方をはじめ多くの方のご参加をお願い申し上げるとともに、ご協力とご支援を賜りたいと存じます。

結びに、ご協力いただきました多くの市民の皆様にご心より感謝と御礼申し上げ、松阪市地域福祉計画策定にあたってのごあいさつといたします。